小6 中学受験 算数 ふつう こたえ　名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

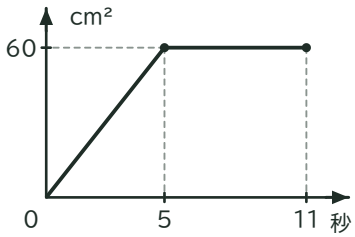
点の移動とグラフ

＿＿＿月＿＿＿日

1 辺の上を動く点 基本

次の問いに答えなさい。

□ (1) 長方形ABCDの辺の上を、点Pが頂点Bを出発して、辺BC、CDの上をC、Dの順に一定の速さで動きます。グラフは、点Pが頂点Dに着くまでの、三角形ABPの面積と、出発してからの時間の関係です。AB=12cmのとき、点Pの速さは毎秒何cmですか。

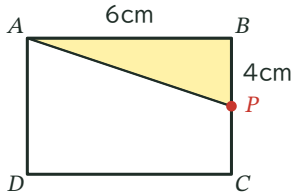


$60 \times 2 \div 12 = 10$　$10 \div 5 = 2$　答え 毎秒2cm

2 動く点と面積・グラフ 標準

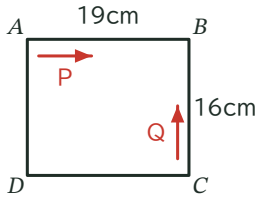
次の問いに答えなさい。

□ (1) 図の長方形ABCDの辺の上を、点Pは頂点Bを出発して、C、D、Aの順に毎秒1cmの速さで動き、Aで止まります。AB=6cm、BC=4cmです。三角形ABPの面積が6cm²になるのは、出発してから2回あります。2回目は、出発してから何秒後ですか。



$6 \times 2 \div 6 = 2$　$4 + 6 + 4 - 2 = 12$　$12 \div 1 = 12$
答え 12秒後

□ (2) 図の長方形ABCDの周の上を、点PはAから、A、B、C、Dの順に毎秒2cm、点QはCから、C、B、A、Dの順に毎秒5cmの速さで、同時に出発して回り続けます。AB=19cm、BC=16cmです。PとQがはじめて出会うのは、出発してから何秒後ですか。



$19 + 16 = 35$　$2 + 5 = 7$　$35 \div 7 = 5$　答え 5秒後

できた ＿＿＿ / 3問

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら